

宮城県青年技能者表彰実施要領

(趣旨)

第1 宮城県青年技能者表彰要綱(平成15年8月1日施行。以下「要綱」という。)に基づき行う表彰については、要綱に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

(被表彰候補者)

第2 市町村長、宮城県職業能力開発協会長、宮城県技能士会連合会長又は各職種別団体の長(以下「市町村長等」という。)は、要綱第2に掲げる要件の全てに該当する者であって、次の各号の一に該当すると認められる者のうちから被表彰候補者を選定して、知事に推薦するものとする。ただし、過去においてこの表彰を受賞した者を除くものとする。

- (1) 1級又は単一等級技能士(検定のない職種にあつてはこれと同程度の技能を有すると認められる者)としての経験が3年以上であり、技能に関して他の技能者の模範と認められる者であること。
- (2) 技能五輪全国大会、技能グランプリ及び全国障害者技能競技大会等の全国規模の技能競技大会において優秀な成績を収めた者又は宮城県大会及び東北大会等地域規模で行われる技能競技大会において最も優秀な成績を収めた者。

(推薦手続)

第3 市町村長等は、知事に推薦する場合は、次の書類を提出するものとする。なお、(1)から(3)については、電子メール等によりデータも提出すること。

- (1) 推薦調書(様式第1号) 2部(印刷物1部、データ1部)
- (2) 功績等調書(様式第2号) 2部(印刷物1部、データ1部)
- (3) 推薦理由書(様式第3号) 2部(印刷物1部、データ1部)
- (4) 履歴書(様式第4号) 1部

上半身、正面、脱帽で、最近(6か月以内)撮影したカラー写真(縦4cm×横3cm程度)を、裏面に氏名を記載の上貼付すること。

- (5) 住民票抄本 1部
- (6) 刑罰等に関する申立書(様式第5号) 1部
- (7) その他の資料

被表彰候補者が高く評価されている技能の程度及び功績を証明することのできる資料をできる限り収集し、原則として返還を要しないものを添付すること。

なお、資料は原則A4判とし、必要により拡大・縮小コピーを使用(写真については、A4判の用紙に貼付)し、左側をとじ、表紙に職種名及び氏名を記入すること。

- ① 半年以内に撮影した本人の作業中の写真及び本人の製作物等の写真
- ② 説明書、図面、写真等

本人の製作物又は発明、考案、改良等に関する説明書、図書、写真等。改良前と改良後の比較をなるべく数量的に行い、専門的技術分野に関するもの

については、平易な解説を附する等の配慮をすること。

③ 新聞記事等

本人の事績に関する新聞、雑誌、業界紙の記事等

④ 特許、実用新案等の資料

特許、実用新案等については、発明者名（共同の場合は、担当分野を明らかにすること。）、所有権者名、内容、取得年月日を明らかにする資料及び証明書の写しを添付すること。概要が分かる書類

（表彰状等の返納について）

第4 推薦者は、自らが推薦して受章した者が、受章後に禁錮以上の刑に処せられ、又は被表彰者としてふさわしくない非行があったと思料される事案についての情報を入手した場合は、事実確認を行った上、遅滞なく知事に情報提供すること。

附 則

この要領は、平成15年 8月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成18年 7月27日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年 6月20日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年11月20日から施行する。

附 則

この要領は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年 6月23日から施行する。

附 則

この要領は、平成23年 7月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成24年 7月 4日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年10月 4日から施行する。

附 則

この要領は、平成26年 1月21日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年 4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成30年10月18日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年 4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、令和 3年 4月 1日から施行する。

(様式第1号)

調 書 (1)

職 業 名		職 種 名					
ふりがな 氏 名		職 歴	在職期間			在職年月数	重複を除く 年月数
生年月日			年	月	日	年	
昭和 年 月 日 (歳) 男・女 平成 推薦する年度の11月1日現在の年齢							
最終学歴		(昭和・平成 年 月)					
現住所		〒 - Tel () -					
就業地	事業所名				企業全体の 従業員数	人	
	所在地	Tel () -					
勲章・褒章		表彰			免許・資格等名	取得年月	

調 書 (2)

職 業 名	職 種 名	ふりがな	
		氏 名	
青 年 技 能 の 概 要	技 能 の 概 要		
	功 績 ・ 貢 献 の 概 要		
	競 技 大 会 の 成 績 等		
就 業 先 の 概 要			
推 薦 団 体 名		(所在地)	TEL () -
推 薦 理 由			

(様式第2号)

功績等調書

氏名	年齢	職種	所属・勤務先
功績概要：			
功績詳細：			

注：功績概要及び功績詳細は、別紙を参考に記入すること。

功績詳細は、400字以内で記入すること。

受賞した場合、記載された内容はホームページ等で公表することがあるので、あらかじめ本人の同意を得ておくこと。

○作業風景写真

○作品写真

--	--

(様式第3号)

推薦理由書

現住所

氏名

生年月日

上記の者は、昭和・平成〇〇年〇〇会社〇〇工場に〇〇工として入社し、以降〇〇〇の製造の業務に従事し、その間技能の研鑽に勤めて精励し、次のように優れた技能を有し、幾多の考案、改善によって生産能率の増進に貢献した（〇〇〇〇技能競技大会に出場し、優秀な成績を収めた）ところである。（文面は適宜に記載すること。）

- 1 〇〇〇〇の技能
.....
.....
.....
- 2 〇〇〇〇の考案
.....
.....
.....
- 3 技能競技大会の成績
.....
.....
.....

年 月 日

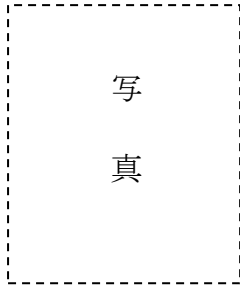
推薦者（団体） 所在地
名 称
代表者職氏名

（推薦理由書作成要領）

- 1 候補者の技能、事績については、上記作成例により本表彰に相当するものについて具体的、詳細に記載すること。
- 2 記載する事項は、1事項ごとに別項として具体的に記述すること。
- 3 用紙は、A4判とすること。

(様式第4号)

履 歴 書



現住所
氏名
生年月日

学 歴

1 昭和 年 月 日 ○○○○○○学校卒業

職 歴

1 自昭和 年 月 日 ○○○○○○(株)
至昭和 年 月 日

公 職 歴

1 自昭和 年 月 日 ○○○○○○
至昭和 年 月 日

団 体 歴

1 自昭和 年 月 日 ○○○○○○
至昭和 年 月 日

賞 罰

1 自昭和 年 月 日 ○○○○○○(株)
至昭和 年 月 日

(履歴書作成要領)

- 1 学歴は、最終学歴について記載すること。
- 2 職歴、公職歴及び団体歴については、全てについて、それぞれの始期及び終期を明確に記入すること。
- 3 賞罰欄は、特に表彰歴について表彰名及び表彰理由を具体的に記入すること。
- 4 用紙は、A4判とすること。

(様式第5号)

刑罰等に関する申立書

私は、禁錮以上の刑罰を受けた事実はありません。

年 月 日

住 所

氏 名

印